

新系統豚「ボウソウL4」

(ランドレース種)が完成しました！

当センターでは、平成20年度から繁殖性、産肉性、強健性に優れたランドレース種の系統造成に着手し、このたび平成28年1月4日付で、(一社)日本養豚協会から系統豚「ボウソウL4」として認定を受けました。

◇「ボウソウL4」の特徴◇

- (1)繁殖能力は良好で、特に3週時一腹総体重は優れた成績をもつ。
- (2)発育も早く1日平均増体量は、雄で1000g、雌で900gを超え、飼料要求率も良好である。
- (3)肢蹄については、内側蹄と外側蹄の大きさをそろえる改良により、健全性が高い。
- (4)フケ肉に關与する遺伝子は、持たない。

(改良形質)

項目	一腹あたり 生存産子数 (初産時)	3週齢時 一腹総体重 (初産時)	1日平均増体量		飼料要求率 雄
			雄	雌	(60-90kg)
ボウソウ L4	10.4 頭	67.3kg	1011g	932g	2.82
ボウソウ L3	9.9	55.4	934	844	—



写真：ボウソウL4

(左上段：雌、左下段：雄、右上段：産子)

改良形質では、すべての項目でボウソウL3の成績を上回り、能力の高いことを示しています。特に3週時一腹総体重は、国内系統豚ではトップレベルです。1日平均増体量も雄で1000g、雌で900gを超え、去勢では110kgに平均145日齢で到達します。

◇今後のスケジュール◇

・県内養豚農家への「ボウソウL4」の販売は平成28年秋以降に開始します。

◇種雄豚の精液販売開始は、「2月末から」◇

「ボウソウL4」の完成に伴い、維持豚（雄）の臨時種畜検査を行いました。2月末頃に人工授精用精液が販売開始予定です。

下表は、その「ボウソウL4」の維持豚集団の雄の各改良形質の成績です。

これらの成績から能力の高い集団であることがわかっていただけたと思います。

表：維持豚（雄）の成績

ボウソウL4 種雄豚	母豚の繁殖成績 (初産時)		本豚の成績(90kg時)			
	生存産子数 頭	3週時一腹 総体重 kg	1日平均 増体量 g	背脂肪 cm	ロース 断面積 cm ²	飼料 要求率
645	10	71.6	1011	1.74	34.0	2.41
704	11	78.8	968	1.91	38.8	3.00
722	12	96.6	1046	1.01	35.0	2.76
728	15	99.8	1163	1.48	31.5	2.66
759	12	82.7	1046	1.08	32.1	2.57
763	12	81.4	1003	1.63	30.3	2.92
801	15	74.9	1143	1.16	27.7	2.54
822	9	72.8	978	1.28	29.1	3.04
825	10	69	1143	1.71	39.4	2.41
835	12	70.8	1164	1.30	30.7	2.61
集団平均	11.8	80.8	1056	1.44	33.1	2.69



今後、系統豚ボウソウ L4 が雌系の基礎豚として広く利用され、養豚農家の生産性向上の一助となることを期待し、普及に向けて努力いたします。販売についてなど、ご不明な点は当センターまでお問い合わせください。



系統豚の組合せ検定



系統豚ボウソウ L4 の能力を十分に活かすことができる、大ヨークシャー種とデュロック種の組合せを当センターでは、平成24年度から検討したのでその概要を報告します。

組合せに用いたランドレース種は、系統造成中の第2世代豚から利用した。大ヨークシャー種は、本県の系統豚「ボウソウW」(以下W1)、ファームテック社W(W2)、SGI社W(W3)、(株)豊橋飼料W(W4)、家畜改良センター茨城牧場産W(W5)の計5系統を、デュロック種は、全農



全農：ゼンノーD-02



家畜改良センター：ユメサクラ

の系統豚「ゼンノーD-02」(D1)、家畜改良センター宮崎牧場の系統豚「ユメサクラ」(D2)の2系統を用い、組合せの合計は10通りとなっています。

繁殖成績

各W種の系統別の繁殖成績を示しました。産子数は、いずれの組合せでも統計的な差はありませんでしたが、LW3が良好な値を示しました。

項目	産歴	産子数 頭	離乳頭数 頭	3週時一腹 総体重 kg
LW1	1	10.1	9.1	63.2
LW2	1	11.2	9.9	67.0
LW3	1	12.3	10.0	75.0
LW4	1	11.1	-	-
LW5	1	9.6	-	-
平均		10.9	9.7	68.4

3週時一腹総体重につきましてもLW3で大変良好な成績を示しました。なお、LW4、LW5につきましても、死流産のワクチン接種が遅れ、黒子が多く残念ながら正常な繁殖成績をとることができませんでした。

産肉成績

各W種、D種の系統別産肉成績を示しました。

LW	交配 D	110kg 到達日齢 日	1日平均 増体量 g	飼料 要求率	背脂肪 3部位平均 cm	ロース 断面積 cm ²
LW1	D1	143.8	1055.4	3.48	3.03	23.2
	D2	143.8	1048.4	3.34	2.93	25.2
LW2	D1	144.8	1059.9	3.46	3.10	22.9
	D2	141.9	1038.1	3.39	2.96	24.4
LW3	D1	141.4	1006.5	3.31	3.03	24.9
	D2	140.5	1075.8	3.06	2.90	23.6
LW4	D1	149.8	980.0	3.28	3.00	26.7
	D2	155.5	1005.2	3.28	3.00	26.2
LW5	D1	153.3	1000.7	3.18	2.93	26.5
	D2	149.9	1022.2	3.23	2.80	27.3
平均		146.5	1029.2	3.3	3.0	25.1

出荷時の日齢は、平均で146.5日、1日平均増体量(30-110kg)は1029gと良好な成績を示しました。いずれの組合せも発育に関しては良好でした。飼料

要求率は3.1から3.5とあまり変動はありませんでした。

上物率と格落ち理由

LW	交配 D	上物率 %	格落ち理由			背脂肪厚 cm
			厚脂 %	薄脂 %	均称・肉付 %	
LW1	D1	69	25.0	0	6.3	1.9
	D2	81	6.3	12.5	0	1.8
LW2	D1	81	12.5	0	6.3	1.9
	D2	75	12.5	12.5	0	1.8
LW3	D1	83	8.3	8.3	0	1.8
	D2	83	0	16.7	0	1.7
LW4	D1	70	10.0	20.0	0	1.8
	D2	70	10.0	20.0	0	1.8
LW5	D1	70	0	30.0	0	1.8
	D2	70	0	30.0	0	1.7
平均		75.2	8.5	15.0	1.3	1.8

上物率は平均で75.2%と高い値を示しました。組合せ別ではLW1D1とLW2D1で厚脂が多く、LW3D2やLW5D1、LW5D2の組合せで薄脂が多い傾向にありました。各農場での環境

の違いがあるかと思いますが、今後、系統豚「ボウソウL4」を使った生産・収益性の高い肉豚生産を行う上では、W種、D種の組合せについて注意していただきたいと思います。

種雄豚(デュロック種)を新規導入 まもなく供用開始



① D31 2015. 5. 16 生



② D994 2015. 4. 19 生

昨年11月にデュロック種の雄を2頭導入しました。いずれも、全体のバランス、歩様と資質の良さ、豊富な肉量と骨量が特徴です。

2月末から人工授精用精液が販売開始予定です。詳細は当センターにお問い合わせください。

☆☆☆精液の御注文について注意事項☆☆☆

お申込先:	千葉県畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 TEL:043-445-4511 ・ FAX:043-445-5447 メール : buta@mz.pref.chiba.lg.jp
お申込方法:	電話、メール または FAX。 系統の指定のみ、承っております。 系統の指定をされる際はできるだけ、第2希望まで指定してください。
受付時間:	月～金曜日(祝日を除く) 8:30～14:00まで 土日祝日の配布は、 宅配のみ 可能です。直近の平日に 事前 にお申し込みください。
お受取方法:	宅配(着払い)のみとなります
価格:	3,240円/100ml(税込み) パッケージの形態は、50ml×2本パックの形で販売いたします。
お支払方法:	納入通知書により最寄りの金融機関 でお支払いください。
備考:	雄豚の体調等により精液が採取できない場合もございます。

連絡先：千葉県畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 担当：松本、細野

電話：043-445-4511 FAX：043-445-5447

メール：buta@mz.pref.chiba.lg.jp

